

- 第7回（9月）定例会・・・P2～4
- 第8回、第9回臨時会・・・P5
- 一般質問・・・・・・・・・・P6～9
- 主な議会活動 編集後記・・・P10

産山で見られる野山の花 15

ハバヤマボクチ（葉場山火口） 「キク科 ヤマボクチ属」
福島県以南～九州に分布し、日本固有種で主にススキ原に生育する。草丈は2mにもなる。
花期は9～11月、アザミに似た花は筒状花で淡紫色、総苞は球形でクモ毛が生えている。
名の由来は、葉場山とは草刈り場のある山の意味で、火口（ほくち）は、火打石などを使って火をおこす際に用いる着火剤のこと。その火口として、ハバヤマボクチを含むヤマボクチ属植物の葉についた綿毛が使われていたという。
近年、阿蘇の草原でも数が減ってきている。

令和6年第7回9月定例会

令和6年第7回定例会が9月8日から15日まで開催され、村から上程された20議案が審議され、全会一致で可決しました。

令和6年度一般会計補正予算(第5号・第6号)

補正予算1億1,089万円が追加され、総額27億1,315万円に

■ 主な歳入

○村税	3, 8 5 2万円
○地方特例交付金	4 3 9万円
○使用料及び手数料	3 3 5万円
○国庫補助金	2 3 1万円
○県支出金	1, 6 0 7万円
○財産収入	1, 0 6 8万円
○繰入金	5 6 0万円
○繰越金	2, 2 5 5万円
○村債	7 4 2万円

■ 主な歳出

○総務費	2 9 6万円
○民生費	7 7 万円
○衛生費	3 7 9万円
○農林水産業費	2, 5 6 0万円
○商工費	7 7 5万円
○土木費	4 0 0万円
○消防費	4 4 万円
○教育費	2 2 4万円
○災害復旧費	6 0 0万円
○諸支出金	2, 1 9 7万円
○予備費	3, 5 3 7万円

(※万円以下は、調整)

令和6年度各特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額	補正の主な理由及び事業
国民健康保険特別会計(第3号)	5 0 6 万円	2 億 2, 3 5 7 万円	前年度繰越金の確定や滞納繰越額の確定
後期高齢者医療特別会計(第1号)	4 3 万円	3, 2 7 3 万円	前年度繰越金の確定や被保険者保険料精算負担金の確定
簡易水道事業特別会計(第1号)	2 8 0 万円	4, 7 9 4 万円	前年度繰越金の確定や滞納繰越額の確定
診療所特別会計(第1号)	2 3 5 万円	6, 2 2 5 万円	前年度繰越金の確定
介護保険特別会計(第1号)	1, 5 3 7 万円	2 億 8, 8 5 7 万円	前年度繰越金の確定や精算に伴う償還金の確定

(※万円以下は、調整)

9月定例会（主な議決事項）

堆肥製造施設改修工事及び堆肥運搬車購入

2,150万円



屋根の老朽化により雨漏りする産山村堆肥製造施設

産山村堆肥製造施設の屋根の老朽化に伴う改修及び機械庫の整備、堆肥運搬車を購入。
（国50%以内、残額 地方債）

産山村林業振興推進事業補助金

400万円



森林環境譲与税交付金を活用し、担い手・人材の確保や適正な森林経営及び施業の推進のため、林業従事者の安心・安全な就業環境の整備を目的に補助。

産山学園制服援助費

224万円

産山学園で令和7年4月から採用される制服



産山学園後期課程において保護者の経済的負担軽減を図ることを目的として制服を援助。（カッターシャツは除く）（全額 一般財源）

乳製品加工施設空調整備改修工事

700万円



九州産直市場に指定管理されている乳製品加工施設

乳製品加工施設の空調設備の老朽化による改修工事。
（全額 観光特別基金繰入）

その他主な議案

○報告第4号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告について

要旨 株式会社うぶやまの令和5年度決算の報告。（詳細については、広報うぶやま10月号に掲載）

○報告第5号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告について

要旨 株式会社うぶやまの令和6年度第1四半期の報告。

○議案第49号 産山村空家等対策の推進に関する条例の制定について

要旨 空家が年々増加しており、防災・防犯・環境・景観等を阻害するなど多岐にわたる問題が生じる恐れがあるため、条例を制定し「産山村空家等対策計画」を策定後に具体的な対策を講じるもの。

○議案第50号 産山村高校生等がんばれ助成金条例の一部を改正する条例について

要旨 物価高騰により現在助成している月額7,000円を10,000円に増額するもの。

○議案第51号 産山村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

要旨 国民健康保険証が令和6年12月2日以降交付が終了することに伴い、条例を改正するもの。

○議案第52号 熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

要旨 後期高齢者保険証が令和6年12月2日以降交付が終了することに伴い、熊本県後期高齢者医療広域連合規約を改正するもの。

9 月 定 例 会 質 疑 応 答

令和6年度一般会計正予算から

【問】 情報通信環境整備対策事業の無線基地局は、どこに設置するのか。また、リースが終われば、機器は返却するのか。

【答】 ヒゴタイ公園キャンプ村のロッジの屋根等にアンテナを設置する。リース後は、無償で村に譲渡される。



現在、携帯電話やインターネット等の通信環境が不安定なヒゴタイ公園キャンプ村ロッジ

【問】 住宅使用料滞納者の保証人をチェックして催促を求めるよう昨年協議したが、その後の経過は。

【答】 令和3年度までに保証人のチェックは完了。
42名の保証人から誓約書をもらい直したところであり、残りが9名という状況であるが、一人暮らしの高齢者や村外からの転入者のため、苦慮しているところである。

令和5年度一般会計決算認定から

【問】 林地調査用ドローン1機と災害用ドローン2機の金額が異なる理由を尋ねる。

【答】 林地調査用ドローンは、林地を飛行するために障害物を回避する必要があり、高性能センサーを搭載したドローンを購入している。
大きさも林地用が895g、災害用が249gと寸法も違い、飛行時間や搭載するカメラのシャッタースピードについても林地用の方が高性能となっている。



災害調査や林地の状況調査のために購入されたドローン

【問】 ドローン操縦免許の取得状況は。

【答】 無人航空機操縦士技能認定に、4名が登録している。
なお、本格的な練習はしていないので、定期的に練習を行わせる

【問】 公民館費について、52万円を増額補正し、不用額が82万円となっている。増額補正の必要性はあったのか。

【答】 公民館費の需用費については、消耗品を節約し、不用額が発生した。
また、施設の修繕費については、見積を取って補正したが、余剰金を見込んで減額補正をするべきであった。

【問】 産山ふるさと特使制度支援事業の特使は現在何名か。また、特使に委任状を渡し、その後どのようなになっているのか。

【答】 この事業はうぶやま未来ラボに委託しているものである。
現在の特使は90名程度で、特使には名刺を100枚ずつ配布し、名刺をもらった方が村で買い物や宿泊をすれば、割引が受けられる事業である。
現在150件の利用があり、年齢層などの分析を行い、今後の活動の参考にする。
また、特使には村内情報などを毎月1回送付している。
ふるさと特使委託料の成果報告書はあるが、成果をより詳しく報告するよう今後うぶやま未来ラボと協議していく。



産山ふるさと特使に配布される名刺

令和5年度決算に伴う監査員からの報告抜粋

令和5年の決算で一般会計については、歳入総額で2,360,745,464円、歳出総額2,282,541,991円で歳入歳出差引額78,203,473円で、実質収支額も42,553,473円の黒字となっており、本村の財政収支は健全な状態にあるといえる。

一般会計歳入における村税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入の収入未済額は48,323,320円で、前年42,324,512円に比べ5,998,808円の増額となっており、原因として、村税1,596,496円、分担金及び負担金309,000円、使用料及び手数料650,590円、財産収入3,442,722円とそれぞれ増額となっているため、今後も分納計画を立てるなどして徴収に努力していただき、収納されている方との不公平感がなくなるよう、取り組んでいただきたい。

次に基金の状況であるが、昨年に比べ基金総額で対前年比105.9%総額1,395,045,869円の増となった。その主な要因として、財政調整基金57,096,426円、減債基金3,738,122円、ふるさと寄付金基金1,231,301円、産山村災害対策基金1,999,135円、産山村熊本地震復興基金10,331,959円、森林環境譲与税基金2,336,572円が主に増額となっており、財政調整基金については、昨年に引き続き増加傾向にあり、補助金等の活用により自主財源を抑えた結果、増額になったと考えられる。

地方債年度末残高の推移では、増加が続いている。今後も収支バランスを考えた交付税算入と処理する資金の借入を考慮し、取り組んでいただきたい。また、一般単独事業債や公営住宅建設事業債については、全額償還となるため、事業の計画にあたっては、補助事業を活用するなど、起債の圧縮に努めていただきたい。

最後に、本村の財政状況は、健全な財政運営が行われていると言えるが、物価高騰によるコストの増加など、依然として厳しい状況下にある。また、役場の体制については業務の多様化や複雑化により職員を取り巻く情勢は、大変厳しい状況となっており、公務員のなり手不足が懸案事項となっている。本村においても職員の不足により職員の配置転換の鈍化が見られ、職員一人の業務量や責務が過大となっており、職員の孤立化が予想され、何らかの方策を講ずるべきと考える。

こうした中、村財政においては公の施設の老朽化が続き、施設改修のための新たな起債借入や、行政需要に応じた人材確保などが財政の圧迫要因となってくる。限られた財源の中で様々な行政課題に取り組むためには、創意工夫、事務事業の精査と見直し等により効果的かつ効率的な行財政運営が望まれる。

令和6年8月30日

代表監査委員 中村 祐介
議選監査委員 渡辺 裕文

*令和5年度の決算書の詳細については、「広報うぶやま10月号」に掲載

令和6年8回臨時会

令和6年第8回臨時会が10月9日に開催され、予算議案1議案を審議し、全会一致で可決しました。

令和6年度一般会計補正予算(第7号)

補正予算285万円が追加され、総額27億1,600万円に

○企画費 うぶちゃんグッズの制作費 80万円 ○衆議院選挙経費 286万円

令和6年9回臨時会

令和6年第9回臨時会が10月17日に開催され、予算議案2議案を審議し、全会一致で可決しました。

令和6年度一般会計補正予算(第7号)

補正予算660万円が追加され、総額27億2,250万円に

○簡易水道事業繰出金 330万円 ○大利団地火災に伴う補正 330万円

令和6年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正予算660万円が追加され、総額5,454万円に

○上田尻旧導水管試掘、調査、測量・設計に伴う補正 660万円

一般質問

村政を問う



井 芳美
議員

■村のキャラクターについて

【議員】14年前に誕生した「うぶちゃん」について、機能性のある二代目の着ぐるみを検討しては。

【村長】年度内には検討する。

【議員】年度内に何とか予算を立てていただきたい。



Q 村の施設について不用品の整理をするべきでは。

A 年度内に整理する

■産業廃棄物の処理について

【議員】産業廃棄物について、花の温泉館、緑地等管理中央センター、スクールバス車庫の横にある倉庫には、何年も前から役場の品物が乱雑に置かれている。環境衛生上も悪いので、処理をしては。

【村長】村には色々な施設がありそこには不用品がまだ置き去りになっている部分がたくさんある。できるだけ年内に整理する。

【政策統括審議監】各施設に保管されている不要物等については、今後、有効活用が可能なもの、または売払いが可能なもの、更には売払いが困難なものであっても、村内の方が利用いただけるもの、対応が全くできずに、産業廃棄物として処理せざるを得ないものに区分し、保有財産の有効活用またはコスト面を考慮して、年内をめどに処分手続を進める。

Q 米の保冷库助成を検討しては。

A 現時点では考えていない。今後検討する。

■米の保冷库の助成について

【議員】米の保冷库について、産山村の農協倉庫の冷蔵施設は故障で使用できなくなった。

そのため、農家の方と非農家が共同で利用する冷蔵庫を買っていただき、それに対する補助金を出しては。そうすれば、村内の家庭で安心安全なおいしい米が食べられると思うがどうか。

【村長】1年半前に、農協の方針でが阿蘇市で集めることとなった。その際に村も協議した経緯がある。当時は、助成等は考えてなかった。個人の備蓄をどうするかという点については、今後、内部で検討したい。

【議員】学校給食のお米はどうなっているのか。

【教育長】学校では、米飯給食でひと月に120キロを2回に分けてうぶマーケットから購入している。

【議員】なるべく村内の米は村内で消費するという形で、検討していただきたい。

Q 就農研修施設の管理ができていない。

A 施設の維持管理を年内に行う。



鈴木 健士
議員

■産山村就農研修施設について

【議員】産山村就農研修施設は、平成21年にホウレンソウなどの施設野菜の振興や新規就農者の受入れなどを通じて、地域の定住化を図ることを目的として設立されたと認識しているが、これまでの研修生の数、定住につながった人数、その効果について伺う。

【村長】施設で研修を積み、8組24名の方々が移住して、一定の成果は得られている。

【議員】研修された方々が、村内に定住され、村の施設野菜生産の一翼を担っており、就農研修事業は良い成果を上げていると思う。本事業は現在も継続されていて、ホームページには産山村就農研修施設の募集記事が掲載されている。直近の方が研修終了されて約3年経つがその後の問い合わせはあったか。

【経済建設課審議員】年間約5件前後の問い合わせがあるが訪れた人はいない。

【議員】住宅、作業棟、機械器具、10棟のビニールハウス全てにおいて、管理不足も甚だしいと言えない状態である。
現状に至った原因はどういうものか伺う。

【経済建設課審議員】令和3年度以降は研修希望者がおらず、有効利用の観点から、ハウスの一部をゴルフ場に一部貸し出している。研修用住宅2棟も臨時的に一般入居を許可して利用している。機械庫及び作業棟については未利用となっている。
住宅周り、機械庫、ハウスに関しては、研修生がいなくなつて以降十分な維持管理ができていない。



管理がされておらず雑草に覆われた就農研修用ビニールハウス

【議員】機械庫の中にはトラクター、動噴、軽トラックもあったと聞いているが、軽トラックは、見当たらないが。

【経済建設課審議員】現在、役場に引き上げ、管理しながら、経済建設課で使っている。

【議員】その軽トラックも、整備不足でちよつと雑に扱いすぎているのではないかという村民の意見も聞く。そのことも含めてしっかり対応していただきたい。

今後どのような管理計画の下に研修施設等を整備するのか、また、本事業をどのように活用するのか、方向性を伺う。

【経済建設課審議員】事業実施目的に沿った新規就農者の募集及び受入れを継続するが、これまでどおりのやり方では研修希望者は見込めない状況にある。村内農業者から利用申入れが数件寄せられていて、施設の有効的な利用及び適正な維持管理の観点から、複数の方策を検討していく。

【議員】今後の事業についての見通しは理解できるが、現況、（ぶうせん）になっているハウスでは何もできない。今すぐにでも整備をしていただきたい。

（ぶうせん）とは

竹田市、豊後大野市、阿蘇地方の方言で手入れが間に合わない田畑などが草ぼうぼうになった状態を指します。

【経済建設課審議員】年内には行なう。

【議員】せっかく実績のある就農による定住化を目的とした施設なので、それ相応な環境と体制の維持に努力していただきたい。



井 春夫
議員

■産山村むらづくり支援交付金

【議員】この交付金は、創意工夫によって協業で地域の活性化に取り組む活動に対して支援をする制度で、平成23年に要綱が施行されたが、過去3年間の交付実績と主な事業内容は。

【企画振興課長】令和3年度は2団体で、生涯教育を通じた世代間交流地域活性化活動と、地区村道の脇道の整備及び環境保全活動、令和4年度は2団体で、サウナを活用した地域交流活性化事業と、牧野の展望所の設置事業、令和5年度は2団体で、地区の美化活動と、産山に訪れた方への来訪サポート事業となっている。

【議員】交付決定の審査基準及びその審査方法は。

【企画振興課長】①社会性の高い公益活動であること。
②事業計画及び予算に客観性及び現実性があること。
③事業計画の手段に社会的相当性があり効果が期待できることの3点を審査選考基準としている。

【議員】交付金の有効的活用のため、事業実施後の確認や効果を検証すべきと

思うが、どのように確認・検証を行っているのか。

【企画振興課長】事業完了後に実績報告書・収支決算書などすべての提出書類をチェックし、申請時の事業計画書と比較し把握しており、事業後の確認はしていない。

【議員】事業後の検証は必要と考える。この交付金は地域おこしや地域活性化のためには有効な手段であり、より効果のある交付金となるよう検討をお願いします。



むらづくり交付金を活用し、扇田展望所に整備された階段

■移住定住促進

【議員】地域おこし協力隊の今後の採用や活動の方向性は。

【村長】地域外の人材を積極的に誘致し、定住定着を図ることは、地域力の維持・強化にも資する有効策と考えている。
協力隊員の、行政ニーズと地域ニーズに幅を広げた採用を考えているが、うまく進んでいないのが現状である。

【議員】協力隊員の募集方法は。

【企画振興課長】広報やインターネットにおいて、職種を指定して募集している。

【議員】産山ふるさと特使制度なども活用し、地域おこし協力隊が地域で輝く、地域に刺激を与える採用を行い、定住定着が図れるよう、積極的に取組を強化して欲しい。

また、村は住宅不足の問題があり、産山に住みたいが住む家がないという声が聞かれており、喫緊の問題だ。空き家や村営住宅の現状、今後の村の住宅政策について伺う。

【政策統括審議監】空き家対策については、リフォーム事業や空き家活用の助成措置などを具体的に進め、村営住宅の管理運営については早急に改善策を講じる必要があり、ニーズに沿った整備検討を進めてまいりたい。

【議員】住宅施策は、地域産業振興にとって重要であり、産山に住みたいと思っても住宅がなければ難しい。就業や起業支援、子育て支援、山村留学、住宅問題を含め、移住定住促進対策に早急に取り組んでいただきたい。

Q 事業後の確認や効果を検証すべきでは。

A 実績報告・収支等を確認、検証は行っていない。

Q 移住定住促進のため村の住宅不足の解消を。

A ニーズに沿った整備を検討する。



渡辺 裕文
議員

Q 産山村における認知症への考え問う。

A 認知症になっても家族や地域で支える計画を策定する。

■認知症基本法について

【議員】将来、高齢者の5人に1人が認知症になると予測されている。認知症の人の尊厳を保持しつつ、希望を持って暮らせるように、認知症に関する基本的な考え方を定め、国や地方公共団体の責任を明確にし、認知症対策の計画を立て、認知症を含めた国民一人一人が、その個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合い共生する活力ある社会の実現の推進のため、認知症基本法が制定され、令和6年1月に施行された。村は、この法律に基づき、どうするのか尋ねる。

【村長】認知症になっても住み慣れた産山村で自分らしく暮らすためには地域社会全体で、認知症の方と、その家族の思いを理解し合えるような地域づくりが大事だと思っている。

村では、子どもヘルパー、シルバーヘルパー、認知症サポーター養成講座等を実施している。国が示す認知症施策推進基本計画に沿って、村も計画を策定することは重要な取組であると考えている。

【健康福祉課長】村は第9期介護保険事業計画をスタートしており、これに定める内容と重複する場合には、これを一体のものとして策定しても差し支えないと示されており、県とも協議を行っている。策定に向けて慎重に検討していきたい。

【議員】国の推進関係者会議に、認知症本人か家族も入れるという考えもあり認知症とか乳幼児とか弱い立場の人たちも、一人一人の基本的な人権があり、計画策定も基本的な人権を共有する人権ベースの考え方になっている。認知症の方とか家族の方を含めて作成会議をする考えはあるか。

【健康福祉課長】毎月、地域ケア会議を開いており、福祉施設とか社会福祉協議会、民生委員の方々から情報があれば、その会議で話をすることは今もやっている。

今後の基本計画策定に当たっては、同意とか守秘義務もあり、人権を配慮した形で意見を反映されるようにやっていきたいと考えている。

【議員】人権を保障されながら、生活ができていくことを望む。村で虐待とか聞いたことはあるか。

【健康福祉課長】聞いたことがあるが直接市町村に関係するものは、市町村が中心となり事実確認をして、必要なものについては県に報告すると定められているので、その対応はしている。ただし、デリケートな部分もあり、役場・行政との関係が難しい方もおられる。そのときは、協力者のほかの機関も一緒になって進めることもあり、事案として早急に対応していきたいと考えている。

【議員】村でも人権学習会を開催しており、人権を尊重しながら、認知症の方でも誰でも住みやすい村にしたいと考えている。



主 な 議 会 活 動

月 日	内 容	場 所	参 加 者
8月8日	熊本県町村議会議長会理事会（リモート会議）	産山村	議 長
8月15日	二十歳のつどい	産山村	議長・総務文教厚生委員長
8月19日	一般国道442号道路整備促進期成会	竹田市	議 長
8月20日	例月監査	産山村	監査委員
8月21日	熊本阿蘇幹線道路期成会総会	大津町	議 長
8月21日～22日	決算監査	熊本市	監査委員
8月23日	総務文教厚生委員会	産山村	総務文教厚生委員
8月25日	熊本県消防操法大会	八代市	議員 7 名参加
8月27日	議会運営委員会 熊本県町村正副議長研修会	産山村 熊本市	議会運営委員 議長・副議長
9月5日	金婚夫婦表彰式	産山村	正副議長常任委員長
9月6日～13日	第7回定例会	産山村	議員全員
9月6日	第8回全員協議会	産山村	議員全員
9月14日	敬老会	産山村	議員全員
9月26日	例月監査	産山村	議員全員
9月28日	ふるさと産山会	熊本市	議員 7 名参加
10月4日	熊本県市町村総合事務組合議会 第9回かたらんネ！阿蘇2024	熊本市	議 長 議員全員
10月7日	戦没者追悼式 ヒゴタイ交流歓迎式典	産山村	議員全員
10月9日	熊本県町村議会議員研修会（リモート） 第8回臨時会	産山村	議員全員
10月17日	第9回全員協議会 第9回臨時会 広報特別委員会	産山村	議員全員 議員全員 広報特別委員
10月18日	阿蘇広域行政組合定例会	阿蘇市	広域議員
10月21日	阿蘇市町村議員研修会	阿蘇市	議員全員
10月22日～23日	町村監査委員全国研修会	東京都	監査委員
10月25日	熊本県町村議長会理事会	熊本市	議 長
10月28日	例月監査	産山村	監査委員
10月30日～31日	阿蘇市町村正副議長研修	長崎県	正副議長

熊本県町村議会議員研修会

10月9日に熊本県町村議会議員研修会（リモート）が開催され、大正大学地域創生学部教授の江藤俊昭氏による「議員のなり手不足の打開の道」と題して現在の議会が置かれている現状について講演がありました。



リモート研修風景

編集後記

村民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。朝夕めっきり寒くなりましたが日中はまだまだ暑い今日この頃、くれぐれもお体に気を付けてください。

今年は、米価がやっと30年前の価格にもどりました。この価格が持続し産山の農家件数が減少しないことを祈っています。

広報特別委員会

委員長 岩下 徳行
委員 井 芳美
副委員長 城本 俊成
委員 鈴木 健士

発行責任者 議長 西澤 正
編 集 広報特別委員会
発 行 産山村議会
熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3
☎ 0 9 6 7 - 2 5 - 2 6 3 5